



# 西念寺だより 神無月号



令和4年10月15日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 63-2912 FAX 0774-29-9683

## 念仏の尊さを知り感謝の気持ちでお称えしましょう

殊の外厳しかった残暑がようやく収まったと思っていたら、朝夕は一気に気温が下がり初冬を思わせるような日になったかと思うと、また暖かい日が続くなど、体調管理が難しい日が続いております。

檀信徒の皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。平素は当山護持隆盛に何かと御配慮と御協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年は順番で田辺区の班長のお役をさせていただいておりますが、先日赤い羽根共同募金の協力依頼書が届きました。

この赤い羽根共同募金運動は、社会の変化の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む団体を応援する「自分の町を良くする仕組み」として取り組まれ、一人ひとりが協力して互いに助け合う尊い運動であります。



私たち人間は、人という字の示すように、お互いが支え助け合い、支え合ってはじめて人としての営みができます。自分の周辺では父母や家族、友人等に支えられ、更には自分を取り巻く社会の人々に支えられて生きています。

共同募金の運動も掘り下げて考えれば共生の運動であり、共に支え合い生きていくことに喜びがあり、感謝しなければいけないことに気付きます。

仏教もまたこの共生の実践に他なりません。善導大師は『往生礼讃』の中で、「願共諸衆生 往生安楽国」（願わくは諸の衆生とともに、安楽国に往生せん）と説かれ、念仏に生きる私たちは、諸の衆生と共に今を生き、浄土往生していくという尊い教えを説いています。

浄土の教えを信奉する私たちの心持ちも、人の幸せを想い、助け合い、支え合うことで自分の幸せ、生きる喜びが生まれてきます。日々のお念仏の中にそんな想いをもちつつ実践していくことで、あの赤い羽根のように、いつも心の中に優しい気持ちが深く広がっていくことを念じたいものです。

別紙でも御案内しておりますように、29日(土)午後1時よりお十夜法要を厳修いたします。是非多くの方に御参加いただき、お念仏の尊さを知り感謝の気持ちを込めて「南無阿弥陀仏」と御一緒にお称えできればと存じます。

今年最後の法要行事となります。是非皆様お揃いでお参りくださいますようお願い申し上げます。

裏面に続く



## 【秋の彼岸会の様子から】

9月20日から26日まで、23日のお中日の前後3日間、秋の彼岸会を厳修いたしました。

お中日法要には総代様や佛教婦人会様評議員様はじめ多くの方々にお参りいただきました。

今回は田辺警察署の御協力で、特殊詐欺の被害、空き巣など被害に遭わないための対策や交通安全や免許制度の変更等について丁寧に教えていただきました。

また、お彼岸期間中、遠方からも多くの方々にお参りいただき、御回向をいただきました。彼岸の入りから結願迄の毎日、施主様毎に回向させていただきました。

御回向賜りました皆様方、誠にありがとうございました。（別紙をご覧ください）



## 【お十夜法要のお知らせ】

阿弥陀如来に感謝の念仏を称える法会である「お十夜法要」を下記のように勤めます。お彼岸中日法要でも行いましたが、今回も新音楽法要曲を取り入れた法要を行います。

法要の後、今回はピアノとエレクトーンの指導者で作曲や演奏家としても御活躍されている城田亜澄氏にお越しいただき、素晴らしい演奏をご披露いただきます。

是非皆様お揃いでお参りくださいますよう御案内申し上げます。

・日 時 令和4年10月29日(土) 午後1時より  
午後1時～ お十夜法要

－ 休 憩 －

午後2時～ ピアノとエレクトーン演奏会

- ・参加者には特製の御朱印を授与いたします。
- ・本行事は浄土宗京都教区寺院大公開の公開事業を兼ねています。



## 【後期齋米(寺院経費)のお願い】

誠に申し兼ねますが例年の如く本年度後期寺院経費の御喜捨をお願い申し上げます。皆様方には何かと御迷惑をお掛けしておりますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

- ・担当評議員様のおられる地域につきましては評議員様に御無理をお願いして皆様方の御家庭に回っていただいております。
- ・御遠方や担当評議員様のおられない地域の檀信徒様には郵便振替用紙を同封させていただいております。制度改定で本来の手数料以外に、皆様方に余計な手数料負担が課せられることになっており、大変申し訳ありませんが宜しくお願い申し上げます。

なお、お寺にお越しいただいた折にお寺または役員会計様に直接お届けいただいても拝受させていただきます。

## 【院号料御寄進のお知らせ】

下村徹氏より下村喜朗氏の御逝去に際し、院号(掛物)料の御寄進をいただきました。誠に有り難うございました。喜朗氏は崇佛の志深く、法曹界で活躍された後、地域振興にも御活躍されました。御冥福をお祈りします。

院号(掛物)料 金35万円 為 公徳院宝誉正歎純喜居士(故 下村喜朗氏)  
施主 下村徹氏